



知ろう
私たちの地球

地震がつくった能登半島の大地



穴倉正展 氏

産業技術総合研究所地質調査総合センター 連携推進室
国内連携グループ グループ長

能登半島地震では地盤が大きく隆起して海岸一帯が干上がりました。このような現象は、実は過去からくり返し生じていたことが海岸地形からわかります。つまり能登半島は地震のたびに隆起してできた大地なのです。その隆起の実態を日本列島各地にある同様の海岸地形と併せて紹介します。



能登半島地震による 新潟市域の液状化被害



卜部厚志 氏

新潟大学災害・復興科学研究所 所長・教授

2024年能登半島地震では新潟市西区において8000軒を越える住宅において液状化被害が発生しました。これらの液状化は、1964年新潟地震による液状化発生地域と重なり、砂丘斜面末端部や旧流路など地形・地盤に特徴がみられます。これら液状化のメカニズムや液状化深度、地盤強度などについて概要を報告します。



令和6年能登半島地震による地殻変動と地盤災害

地質の日

オンライン一般講演会

2024年5月12日(日) AM 9:30-12:05

開催方法：YouTubeライブ配信 どなたでも視聴可能、申込不要、無料

<https://www.youtube.com/live/f65hg5sYamU>

主催：一般社団法人 日本地質学会



講演会ページ

日本地質学会では、広く一般に地質学の魅力と重要性を知っていただくため、毎年、5月10日の「地質の日」を記念した様々な行事を実施しています。本年は、1月1日に発生した能登半島地震について、被害のあった能登や新潟市などを長年調査している研究者に登壇いただき、現地の地形変化や地盤災害の最新情報について解説します。

